

表現することは 生きること

—AI時代の感じる力と子どもの未来を考える—

武蔵野大学 教育学部 幼児教育学科 リカレント企画 シンポジウム

<企画趣旨>

情報が溢れ、AIの進化が加速する現代社会、子どもを取り巻く環境は本当に豊かと言えるのでしょうか？
便利さの中で子どもたちは「感じる力」を發揮できているのでしょうか？

表現することは、生きること。これから生きる乳幼児が人としての豊かな感性を最大限に發揮し、自分らしく豊かな未来を拓くためにはどのような体験が必要なののでしょうか？

感性を育むことは、人としての根っこを強く、しなやかに、そしてたくましく育てること。五感に触れる体験が子どもの未来にもたらすことは何か。乳幼児をまんやかに、今を生きる皆さんと一緒に考える場にしたいと思います。未来へのバトンをつなぐ私たちにできることを、造形表現・身体表現・音楽表現の視点から話題提供します。

2026. 8 .23 日 13:00-15:00 シンポジウム 7号館 5階 会議室AB (参加無料)

15:30-16:30 懇親会 7号館1階 学生ホール (参加無料)

話題提供

高牧 恵里 (本学 客員准教授)

「見る・聴く」感覚から表現できること

川上 暁子 (本学 幼児教育学科准教授)

身体から「私たち」を考える

生井 亮司 (本学 幼児教育学科教授)

素材に触れることで育つもの

指定討論 今福理博 (本学 幼児教育学科 教授)

司会 義永睦子 (本学 幼児教育学科 教授)

企画趣旨 小川房子 (本学 幼児教育学科 准教授)

参加ご希望の方は、【2026年7月31日(金)】までに
以下の URL もしくは QR コードからお申し込みをお願いいたします

<https://forms.gle/X4GhKHdYRoiPirvB7>

主催:武蔵野大学同窓会むらさき会支部会 保育・幼児教育同窓会
共催:武蔵野大学幼児教育学科こころの教育センター

問い合わせ:武蔵野大学幼児教育学科 (kodomo@musashino-u.ac.jp)



世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World

